

水上オートバイの安全運航のために

【平成29年6月】

転覆した水上オートバイの復原方法を誤ったことから、エンジンルーム内に浸水し、機関が起動せず曳航救助されるという事故が発生しました。

機種ごとに復原方法が異なるので、発航前に確認するようにしましょう！

水上オートバイの特性

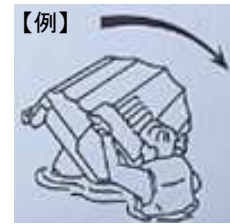
転覆時の復原方法

転覆した場合に復原させる回転方向は、メーカー機種により決まっています。

機体船尾に貼ってある**ステッカー**を確認しましょう。

※ステッカーがない場合は取扱説明書で確認しましょう。

復原方法の間違いは浸水等の原因に！



(株式会社船社より提供)

左?
右?

曳航時の速力



時速8km (4.3kt) 以上で曳航すると、エンジン内部への浸水や転覆の恐れがあります。
徐行での曳航を心がけましょう。

※実際の曳航速度は取扱説明書で確認しましょう。

ジェット噴流の危険性

乗船者が落水時、ジェット噴流により**内臓等に重症**を負う危険性があります。

命を守る為に

- ・ウエットスーツ、ライフジャケットを着用しましょう。
- ・急発進や急ハンドルは控えましょう。

水上オートバイの事故防止のために

◆ 発航前点検の実施

船体・エンジンの異常の有無、燃料等の確認を行いましょ。



◆ 危険操縦の禁止

遊泳者の付近での疾走、ジグザグ航行は危険です。



◆ 常時、適切な見張りの実施



少しの気の緩みが衝突・乗揚事故に繋がります。

◆ 遊具曳航時の注意



遊具に乗っている人の安全を第一に、細心の注意を払いましょ。

お問い合わせ



海上保安庁

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
(安全対策課) 03-3591-6361

海の安全情報

検索